

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社 セレスポ
 コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部経理部長 (氏名) 久保田 裕

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 2020年11月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,618	80.1	1,081		916		662	
2020年3月期第2四半期	8,113	53.5	703		710		488	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	119.73	
2020年3月期第2四半期	88.72	

注) 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	7,631	4,996	65.5	901.10
2020年3月期	8,987	5,797	64.5	1,049.59

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,996百万円 2020年3月期 5,797百万円

注) 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

注) 1. 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。なお、2020年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

注) 2. 2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルスが次年度の経営環境ならびに業績動向に与える影響が現時点で不確実であるため、引き続き未定としております。今後、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	75.9	2,100		1,800		1,500		270.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,703,500 株	2020年3月期	5,703,500 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	159,155 株	2020年3月期	179,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,532,880 株	2020年3月期2Q	5,510,223 株

当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 財政状態及び経営成績に関する説明.....	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書（第2四半期累計期間）.....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(追加情報).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 財政状態及び経営成績に関する説明

①経営成績

緊急事態宣言の解除やイベントの開催制限の段階的緩和の通知がなされ、国内の経済活動に再開の動きが見られるものの、不透明な状況が続いております。

当社は2018年4月にスタートした「中期経営計画Ⅳ」に基づき、収益性の向上に向けて取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大等による緊急事態宣言及びイベントの開催制限の発出を受け、多くのイベントの開催が自粛されました。

また、国民体育大会及び国際的スポーツ大会の延期等の影響もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

売上高につきましては、案件数が減少し、単価も低下しました。その結果、6,495百万円の減収となりました。

費用につきましては、外注費の減少等に伴い、売上原価が4,410百万円減少しました。

また、在宅勤務など感染被害の防止に対応した費用も発生しましたが、経費削減に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

売上高	1,618百万円（前年同期の売上高は8,113百万円）
営業損失	1,081百万円（前年同期の営業利益は703百万円）
経常損失	916百万円（前年同期の経常利益は710百万円）
四半期純損失	662百万円（前年同期の四半期純利益は488百万円）

このような状況の中、当社は従業員及び関係者の安全を最優先として、感染防止及び拡大防止に努めてまいりました。全従業員を対象に在宅勤務を推奨すると共に、フレックス制度を活用し時差出勤と短時間勤務を実施しております。また、社内及び社外関係者との会議等においては、オンラインを活用しております。さらに、イベントにおいては、お客様と協議を行い、感染防止及び拡大防止に配慮してまいりました。

当社としては、引き続き中期経営計画Ⅳに掲げた「継続企業の確立」のため、①経営理念の実践、②企業力の増強、③イベント・ソリューション・パートナーの実現に取り組んでまいります。

この点、全社における事例の共有・発表会の実施により、ベストプラクティスの共有及び業務の実践に生かすことに力を入れてまいりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

〔基本事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は1,109百万円と前年同期比76.3%の減収となりました。

〔スポーツ事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は460百万円と前年同期比82.0%の減収となりました。

〔競争事業部門〕

前述の新型コロナウイルスの感染拡大等による影響を受けた結果、売上高は47百万円と前年同期比94.4%の減収となりました。

部門別の売上高の明細は次表のとおりであります。

(単位：百万円)

部門	売上高	構成比	前期比増減	主要領域
基本事業	1,109	68.5%	△3,581 (△76.3%)	各営業拠点が担当する、様々なイベント領域
スポーツ事業	460	28.5%	△2,102 (△82.0%)	中央競技団体等が開催するスポーツ・競技に関するイベント領域
競争事業	47	3.0%	△811 (△94.4%)	皇室ご臨席行事を中心とした全国持ち回りで開催されるイベント領域
合計	1,618	100.0%	△6,495 (△80.1%)	

②財政状態

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べて1,355百万円減少し、7,631百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,270百万円、受取手形及び売掛金が459百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて553百万円減少し、2,635百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したものの、買掛金が101百万円、未払法人税等が408百万円、賞与引当金が148百万円、流動負債その他に含まれる未払金が443百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて801百万円減少し、4,996百万円となりました。これは主に利益剰余金が828百万円減少したことによるものであります。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて1,270百万円減少し、1,453百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は1,805百万円（前年同期は1,591百万円の支出）となりました。

これは主に減価償却費が51百万円発生し、売上債権が534百万円減少した一方、税引前四半期純損失が935百万円あったことに加え、賞与引当金が148百万円、仕入債務が101百万円、未払消費税等が171百万円減少、たな卸資産が142百万円増加し、法人税等の支払が386百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は44百万円（前年同期は8百万円の支出）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出が11百万円、無形固定資産の取得による支出が3百万円あった一方、投資有価証券の売却による収入が56百万円、利息及び配当金の受取額が2百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は489百万円（前年同期は1,740百万円の獲得）となりました。

これは主に短期借入による収入が700百万円あった一方、配当金の支払額が165百万円あったこと等によるものであります。

（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、業績予想の算出が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定し、公表することといたしました。

詳細につきましては、本日（2020年11月13日）公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,724,040	1,453,082
受取手形及び売掛金	1,126,901	667,263
原材料及び貯蔵品	38,181	38,131
未成請負契約支出金	442,835	585,459
その他	147,455	193,216
貸倒引当金	△5,112	△3,047
流動資産合計	4,474,301	2,934,107
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	297,636	289,169
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	54,745	51,580
有形固定資産合計	3,662,633	3,651,000
無形固定資産	205,413	175,499
投資その他の資産		
その他	715,940	942,332
貸倒引当金	△71,127	△71,207
投資その他の資産合計	644,813	871,125
固定資産合計	4,512,859	4,697,625
資産合計	8,987,161	7,631,732
負債の部		
流動負債		
買掛金	360,210	259,084
短期借入金	600,000	1,300,000
未払法人税等	429,191	21,044
賞与引当金	301,924	153,875
その他	1,105,674	548,143
流動負債合計	2,797,001	2,282,147
固定負債		
長期借入金	150,000	112,500
退職給付引当金	87,284	89,358
資産除去債務	34,620	34,640
その他	120,359	117,064
固定負債合計	392,263	353,563
負債合計	3,189,265	2,635,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,176,187	2,186,820
利益剰余金	2,311,216	1,483,039
自己株式	△51,769	△45,902
株主資本合計	5,806,310	4,994,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,413	1,389
評価・換算差額等合計	△8,413	1,389
純資産合計	5,797,896	4,996,021
負債純資産合計	8,987,161	7,631,732

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,113,992	1,618,215
売上原価	5,681,437	1,270,917
売上総利益	2,432,554	347,297
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	805,023	789,493
賞与引当金繰入額	129,309	—
その他	795,168	639,556
販売費及び一般管理費合計	1,729,501	1,429,049
営業利益又は営業損失(△)	703,053	△1,081,751
営業外収益		
受取配当金	4,278	2,111
保険解約返戻金	1,684	607
雇用調整助成金	—	155,606
その他	2,990	8,902
営業外収益合計	8,953	167,227
営業外費用		
支払利息	1,471	1,434
貸倒引当金繰入額	250	550
営業外費用合計	1,721	1,984
経常利益又は経常損失(△)	710,286	△916,508
特別損失		
投資有価証券売却損	7,133	13,659
投資有価証券評価損	3,661	3,338
減損損失	—	1,921
特別損失合計	10,794	18,920
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	699,491	△935,428
法人税、住民税及び事業税	226,460	12,073
法人税等調整額	△15,813	△285,044
法人税等合計	210,647	△272,971
四半期純利益又は四半期純損失(△)	488,844	△662,457

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	699,491	△935,428
減価償却費	51,852	51,932
減損損失	—	1,921
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	426	△1,985
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,659	△148,049
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,606	2,074
受取利息及び受取配当金	△4,295	△2,131
支払利息	1,471	1,434
雇用調整助成金	—	△155,606
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,661	3,338
投資有価証券売却損益 (△は益)	7,133	13,659
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,044,313	534,743
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△893,319	△142,574
仕入債務の増減額 (△は減少)	650,790	△101,126
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,462	△171,817
保険積立金の増減額 (△は増加)	28,150	△1,359
長期未払金の増減額 (△は減少)	△16,050	—
その他	△13,386	△465,670
小計	△1,498,584	△1,516,645
雇用調整助成金の受取額	—	98,097
法人税等の支払額	△93,352	△386,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,591,937	△1,805,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,336	△11,742
無形固定資産の取得による支出	△21,213	△3,189
投資有価証券の売却による収入	15,666	56,708
貸付けによる支出	△1,650	△1,200
貸付金の回収による収入	1,245	1,019
利息及び配当金の受取額	4,296	2,131
敷金及び保証金の差入による支出	△1,582	△676
敷金及び保証金の回収による収入	2,060	1,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,514	44,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,900,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△37,500	△37,500
自己株式の取得による支出	△117	—
利息の支払額	△1,981	△1,607
リース債務の返済による支出	△5,060	△5,905
配当金の支払額	△115,064	△165,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,740,275	489,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139,824	△1,270,958
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,570	2,724,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,431,394	1,453,082

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

緊急事態宣言の解除やイベント開催制限の段階的緩和の通知がなされていますが、新型コロナウイルスの感染防止及び拡大防止のために、イベントの中止や延期等が続いています。このため、当社の事業環境に影響を及ぼしておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を予想することは困難な状況にあります。

当該影響により、2021年3月期においてはイベントの開催数が減少し、その後回復するという一定の仮定をおき、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判定・評価といった会計上の見積りを行っております。